

伝え継ぐ大切さ

阿弥陀さまの願いが

いま私のもとに

荻屋光影師

広島県光行寺住職

「体験」はなくとも皆さんにとって大切な日はいつでしょうか。

私たちには人生の中で特別な日があります。その特別な日は、私にとって大切な事を受け継いでいく日だと思えます。例えば、私が生まれた日は、頂いた命を受け継いでいく日です。大切な方との今生の別れの日、その方の人生を受け継いでいく日です。そのように、私にとって大切な日は、受け継いでいく日です。あると教えてもらった言葉があります。

4年前の2019年6月23日、沖縄全戦没者追悼式で朗読された平和の詩「本当の幸せ」という小学生の詩でした。その朗読を聞いていますと、「伝え継いでいく」という言葉が聞こえてきました。語り継ぐ、歌い継ぐ、という言葉は聞いた事がありました。が、「伝え継いでいく」という言葉は初めて聞きました。

知らない世代が増えている体験した事はなくとも

戦争の悲しさを

決して繰り返しては

いけない事を

伝え継いでいく事は今に生きる私たちの使命だ

二度と悲しい涙を

流さないために

この島がこの国が

この世界が

幸せであるように(一部抜粋)

私は「伝え継いでいく事」

という言葉聞きながら、こ

れまでご門徒から教えていた

だいた戦争体験のお話を思い

出しました。記憶の中にある

戦時中の体験を、一生懸命、

私に語り伝えて下さいました。

それは、戦争という過ちを決

して繰り返してはいけないと

いう願いを受け継いでいく事

だと教えて頂きました。

今年には戦後78年を迎えます。

6月23日は沖縄において大切

に受け継がれてきた沖縄戦終

結の日です。広島で育った私

にとって8月6日は「原爆の

日」として、二度と過ちを繰

り返さないように大切に受け

継がれてきた日です。同じよ

うに全国各地にはそれぞれ大

切に受け継がれてきた日があ

ります。その大切な日を通し

て、先人が伝えてくださった

願いをこれからも受け継いでいく事です。

## 七回忌の御法事

以前、ご門徒のおばあさん

が、ご主人の七回忌を勤めら

れた時の事です。半年ほど前

にご法事の連絡をいただき、

ご自宅でお勤めする詳細を決

めました。ところが、1週間

ほど前、おばあさんから連絡

があり、自宅ではなく、お寺

の本堂で法事をさせて欲しい

と言われました。

私は、おばあさんも高齢

になられたので、自宅でお勤

めするのは何かと大変なのだ

ろうと思いました。

当日、お寺でご法事をお勤

めし、その後、ご家族とお茶

を飲みながらゆっくりとお話

をしました。そして最後に

おばあさんが、「私も年を重ね

ましたので、ご法事が出来

るのも今回が最後になりそう

です。後は息子が法事を

してくれらると思います」と私

やご家族に伝えられました。

すると息子さん「どこ

で今回はなぜお寺の本堂で法

事をしたの？」と聞かれたの

です。

私は前もってご家族で相談

してお寺で勤められたと思

っていましたので、少し驚き

ました。

すると、「家族には相談せ

ずにお寺で法事をする事を勝

手に決めました。今回の法事

が私にとっては最後になるか

もしれません。そこで私は人

生の最後に何を家族に残せる

だろうかと考えました。何も

できなくなってきた私ですが、

人生の最後に、子や孫たちを

本堂の阿弥陀様の前に座らせ

てやる事はできると思いまし

た。私のわがままを聞いてい

いただき、ありがとうございます

ました。今日はお寺にお参り

きてよかったです」と、よろ

こんで帰っていかれました。

私もご家族も、おばあさん

の思いを聞かせてもらって本

当にうれしかったです。そし

て、そのご法事は、おばあさ

んの願いによってととのえら

れたご縁であった事を、あら

ためてよろこばせていただき

ました。

阿弥陀様という仏様も、同

じように私たちに願いをかけ

ご縁をととのえてくださって

います。あらゆる命が安心して

て人生を生き、安心して命を

終えていけるように願いを建

て、完成してくださいます。

その願いが受け継がれ、いま

私の元に届いています。先人

が伝えて下さった阿弥陀様の

願いを大切に受け継ぎ、伝え  
継がせていただきますように。  
本願寺新報

令和5年4月20日号掲載

## 新型コロナウイルス 対応について

新型コロナウイルス4年目  
になり、感染状況も下火にな  
り、終息したと見られていま  
す。また、法的な扱いが変わ  
り町中でのマスク姿もだいぶ  
減ってきたようです。

教誓寺では、4月末に全員  
が新型コロナウイルスに感染  
してしまいました。幸か不幸  
か、医療体制が旧制度のまま  
でしたので、インターネット  
の診療や高価な治療薬の無料  
配達などを利用して素早い治  
療を受ける事が出来ました。  
何度も受けたワクチンのおか  
げか、症状も軽く済みました。  
これからののお寺のコロナ  
対応ですが、規制解除を終  
結宣言と捉えて、コロナ前  
の状態に戻してまいりたい  
と思います。  
皆様それぞれに判断基準  
がおりだともあります。  
皆様の守っている基準に沿  
ってお出かけ下さい。

## 孟蘭盆会法要の ご案内

記

### 孟蘭盆会法要

7月9日(日)

午後2時より

### お盆の期間

7月13日～16日

教誓寺門信徒皆様の法  
要です。今年「新盆」を迎  
える方々の、「新盆法要」  
を併せてお勤め致します。

新盆にあたる方の法名を  
読み上げてお勤めを致しま  
すので、ご関係の方々は是  
非お参りください。

昨年のお盆以降に七七日  
(四十九日)を迎えた方か  
らから、今年のお盆までに  
七七日(四十九日)を迎え  
た(東京のお盆期間で言い  
ますと、昨年の六月から今  
年の五月末までにお亡くな  
りになった)方々が「新  
盆」にあたります。

**新年号でお知らせした日  
程に誤りがありました。訂  
正してお知らせいたします。**

## 秋以降の行事予定

コロナウイルスの感染状  
況は、収束傾向にあると思  
われます。お寺の法要執行  
ですが、コロナ前の行事の  
かたちに戻す前提でひと夏  
を過ごして、9月初めに決  
定させて頂きます。

### 秋のお彼岸

9月20日から27日

### 23日彼岸会法要

## 報恩講

10月29日(日)

御齋(食事)や布教  
師の先生の法話などを  
復活させたいと考えて  
います。

## お花などの手配

ご連絡をいただければ、  
お花とお線香をお供えし  
て、それぞれのお墓のお  
参りを致します。

お花などの実費とお布  
施をお願い致します。

## 教誓寺維持会費

について

本年度も維持会費ご納入  
下さり有り難うございます。  
皆様のご納入は順調です  
が、残念ながら、連絡が取  
れなくなっている方もあり  
ます。転居なさるときには、  
お寺へもご一報お願い致し  
ます。

これからご納入下さる方  
も、宜しくお願い致します。

浄土真宗本願寺派 圓生山 教誓寺  
1081-0073

東京都港区三田 一十二十一

〇三(三四五)二三九

kyousei.ji@jst4.so-net.ne.jp



昨年咲いたの蓮の花